

財 産 目 録

I 資産総額	5,226,870,677 円
内 基本財産	4,464,176,663 円
運用財産	762,694,014 円
II 負債総額	96,071,482 円
III 正味財産	5,130,799,195 円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	22,454.50 m ² 3,307,005,013 円
建物	6,757.15 m ² 1,024,096,807 円
構築物	45 点 5,067,846 円
図書	21,557 冊 33,433,266 円
教具・校具・備品	1,469 点 51,143,730 円
その他	43,430,001 円
2 運用財産	
現金預金	333,677,061 円
その他	429,016,953 円
資 産 総 額	5,226,870,677 円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	32,542,000 円
2 流動負債	
短期借入金	7,804,000 円
その他	55,725,482 円
負 債 総 額	96,071,482 円
正味財産（資産総額－負債総額）	5,130,799,195 円

貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,864,664,920	4,985,081,808	△ 120,416,888
有形固定資産	4,420,746,663	4,438,146,051	△ 17,399,388
土地	3,307,005,013	3,307,005,013	0
建物	1,024,096,807	1,044,841,817	△ 20,745,010
その他の有形固定資産	89,644,843	86,299,221	3,345,622
特定資産	400,000,000	500,000,000	△ 100,000,000
その他の固定資産	43,918,257	46,935,757	△ 3,017,500
流動資産	362,205,757	370,972,525	△ 8,766,768
現金預金	333,677,061	346,589,067	△ 12,912,006
その他の流動資産	28,528,696	24,383,458	4,145,238
資産の部合計	5,226,870,677	5,356,054,333	△ 129,183,656

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	32,542,000	39,846,000	△ 7,304,000
長期借入金	32,542,000	39,846,000	△ 7,304,000
その他の固定負債	0	0	0
流動負債	63,529,482	109,415,681	△ 45,886,199
短期借入金	7,804,000	30,504,000	△ 22,700,000
その他の流動負債	55,725,482	78,911,681	△ 23,186,199
負債の部合計	96,071,482	149,261,681	△ 53,190,199

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	5,864,977,457	5,843,330,717	21,646,740
第 1 号基本金	5,825,977,457	5,804,330,717	21,646,740
第 4 号基本金	39,000,000	39,000,000	0
繰越収支差額	△ 734,178,262	△ 636,538,065	△ 97,640,197
翌年度繰越収支差額	△ 734,178,262	△ 636,538,065	△ 97,640,197
純資産の部合計	5,130,799,195	5,206,792,652	△ 75,993,457
負債及び純資産の部合計	5,226,870,677	5,356,054,333	△ 129,183,656

資金収支計算書

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	131,576,000	132,949,550	△ 1,373,550
手数料収入	4,693,000	2,691,900	2,001,100
寄付金収入	5,782,000	5,382,796	399,204
補助金収入	234,798,000	239,433,250	△ 4,635,250
都補助金収入	213,021,000	210,821,800	2,199,200
東京都私学財団補助金収入	21,777,000	28,611,450	△ 6,834,450
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,725,000	2,575,030	149,970
受取利息・配当金収入	151,000	150,969	31
雑収入	16,319,000	16,321,146	△ 2,146
借入金等収入	1,450,000	500,000	950,000
前受金収入	34,190,000	13,192,000	20,998,000
その他の収入	129,062,000	129,548,502	△ 486,502
資金収入調整勘定	△ 28,776,000	△ 42,432,054	13,656,054
前年度繰越支払資金	346,589,000	346,589,067	
収入の部合計	878,559,000	846,902,156	31,656,844
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	287,330,000	288,453,053	△ 1,123,053
教育研究経費支出	106,531,000	90,214,821	16,316,179
管理経費支出	60,762,000	55,018,998	5,743,002
借入金等利息支出	398,000	397,334	666
借入金等返済支出	30,504,000	30,504,000	0
施設関係支出	8,326,000	5,381,315	2,944,685
設備関係支出	17,865,000	18,812,591	△ 947,591
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	28,670,000	36,184,649	△ 7,514,649
予備費	7,000,000	0	7,000,000
資金支出調整勘定	△ 8,767,000	△ 11,741,666	2,974,666
次年度繰越支払資金	339,940,000	333,677,061	6,262,939
支出の部合計	878,559,000	846,902,156	31,656,844

事業活動収支計算書

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	131,576,000	132,949,550	△ 1,373,550
		手数料	4,693,000	2,691,900	2,001,100
		寄付金	812,000	821,664	△ 9,664
		経常費等補助金	234,798,000	232,063,250	2,734,750
		都補助金	213,021,000	210,821,800	2,199,200
		東京都私学財団補助金	21,777,000	21,241,450	535,550
		付随事業収入	2,725,000	2,584,432	140,568
		雑収入	16,319,000	16,491,146	△ 172,146
		教育活動収入計	390,923,000	387,601,942	3,321,058
	教育活動支出の部	事業活動支出	科 目	予 算	決 算
		人件費	287,330,000	288,453,053	△ 1,123,053
		教育研究経費	146,981,000	129,773,670	17,207,330
		管理経費	62,089,000	56,313,203	5,775,797
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	496,400,000	474,539,926	21,860,074
		教育活動収支差額	△ 105,477,000	△ 86,937,984	△ 18,539,016
教育活動外収支	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	151,000	150,969	31
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	151,000	150,969	31
	事業活動外支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	398,000	397,334	666
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	398,000	397,334	666
		教育活動外収支差額	274,000	△ 246,653	159,653
	経常収支差額		105,724,000	△ 87,184,349	813,846

特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	12,356,000	11,931,132	424,868
		特別収入計	12,356,000	11,931,132	424,868
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	0	622,240	△ 275,326
		その他の特別支出	0	118,000	292
		特別支出計	0	740,240	△ 740,240
		特別収支差額	12,356,000	11,190,892	1,165,108
		予備費	7,000,000	0	7,000,000
	基本金組入前当年度収支差額	△ 100,368,000	△ 75,993,457	△ 24,374,543	
	基本金組入額合計	△ 30,895,000	△ 21,646,740	△ 9,248,260	
	当年度収支差額	△ 131,263,000	△ 97,640,197	△ 33,622,803	
	前年度繰越収支差額	△ 636,538,000	△ 636,538,065	65	
	基本金 取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 767,801,000	△ 734,178,262	△ 33,622,738	
	(参考)				
	事業活動収入計	403,430,000	399,684,043	3,745,957	
	事業活動支出計	503,798,000	475,677,500	28,120,500	

監査報告書

令和元年 5月22日

学校法人 村田学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 村田学園

監事 大塚克慧



監事 徳本俊二



私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人村田学園寄附行為第14条の規定に基づき、学校法人村田学園の平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

1. 監査方法の概要

私たちは監査にあたり、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、また会計監査人である東和監査法人との連携をとり、必要と思われる監査手続を実施しました。

2. 監査の結果

監査の結果、学校法人村田学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

村田学園 平成30年度事業報告書

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

1. 法人の概要

(1) 設置する学校・学科等

- ① 村田女子高等学校
 - 普通科
 - 商業科
- ② 村田女子中学校（授業停止中）

(2) 当該学校・学科等の入学実員数・総実員数（平成30年5月1日現在）

学校名	学部・学科等名	入学定員数	入学実員数	総定員数	総実員数
村田女子高等学校	普通科	80人	46人	240人	166人
	商業科	82人	35人	246人	115人
村田女子中学校		80人	0人	240人	0人
合計		242人	81人	726人	281人

(3) 役員・評議員・教職員の概要等（平成31年2月1日現在）

① 役員概要

定数・人数	区分	職名	担当職務	常勤/ 非常勤	氏名	
理事 定員6人以上8人以内 (実員7人)	第1号	理事	高校中学	常勤	小野 正人	
		理事長	総理	常勤	大橋 節子	
	第2号	理事			非常勤	池田 富一
					非常勤	植松 久恵
					非常勤	増田 哲也
					非常勤	福田 富昭
					非常勤	三浦恵美里
第3号	理事			非常勤	大塚 克慧	
				非常勤	徳本 俊二	
監事 定員2人（実員2人）		監事	財務	非常勤	大塚 克慧	
			業務	非常勤	徳本 俊二	

② 評議員の概要

定数・人数	区分	常勤/ 非常勤	氏名
評議員 定員13人以上17人以内 (実員15人)	第1号	常勤	小野 正人
	第2号	常勤	篠崎 誠二
		常勤	四條 英俊
		常勤	二宮 雄彦
	第3号	非常勤	脇野 京子
		常勤	細谷 宣夫
	第4号	非常勤	大橋 博
		非常勤	大橋 節子
		非常勤	増田 哲也
		非常勤	池田 富一
		非常勤	植松 久恵
		非常勤	福田 富昭
		非常勤	三浦恵美里
非常勤		小泉 力一	
非常勤	飯島 晶子		

③ 教職員の概要

	教 員			職 員		
	専任	非常勤	計	専任	非常勤	計
村田女子高等学校	36人	11人	47人	5人	7人	12人
村田女子中学校	—	—	—	—	—	—
法人本部	—	—	—	1人	0人	1人
合 計	36人	11人	47人	6人	7人	13人

※ 村田女子高等学校専任教員数は、広尾学園中学校・高等学校からの出向者1名を含む。

2. 財務の概要

事業活動収支経年比較

(単位:円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
事業活動収入合計	399,684,043	424,481,036	469,953,170
事業活動支出合計	475,677,500	515,259,961	536,475,780
基本金組入前当年度収支差額	△75,993,457	△90,778,925	△56,522,610

3. 事業の概要

村田女子高等学校

村田女子高等学校は、創立者の建学の精神「有算者勝」に基づき「社会に貢献できる女性の育成」を理念とし、生徒の学力伸長を図り、社会の変化に対応しつつ、自分らしく生きて行く女性の育成を目指してきた。しかしながら、この間募集においては回復することなく低迷を続けてきたことも事実である。この現状を打破するために広尾学園との教育連携を軸に改革のあり方等を研究・検討を重ねている。

また、すでに在籍している生徒さらに 31 年度に入学してくる生徒については募集時に約束した教育以上のものを提供する必要がある。まずは、生徒の夢の実現のため学力向上につとめる。そのためにも教員の教育力・授業力をさらに磨きをかけていく。

その達成に向けた活動を以下のとおり実践する。

～見える学力のために～

- ① 普通科・商業科の教育内容について検証し、一層の充実をはかる
- ② 大学進学等、生徒の進路実現へ向けての指導を徹底する
- ③ ICT教育の環境整備と全教員の意識改革のための研究・研修をおこなう

～見えない学力のために

- ④ 学校行事とクラブ活動の一層の充実を図り、学校生活を活性化する
- ⑤ グローバル化に対応できるたくましく生きる力を育成する

具体的計画は以下のとおり。

計画1. 各科・コースの教育内容と学習指導の充実

【商業科】

進学希望者が約7割を占める商業科の現状に対処するため、より高度な資格取得を武器にしながら、明治・法政・日東駒専レベルの資格推薦合格を目指すために、日々の教科指導、併せて、早朝練習や放課後講習に継続的に取り組んだ。結果として、資格取得は、健闘したが、挑戦校(明治・法政)への進学者は輩出できなかったが、日東駒専への合格は達成できた。

期間	講週内容	結果
6/1 ～6/9	日商簿記講週（放課後）	2級1名
6/11 ～6/15	珠算電卓早朝練習	1級13名 2級9名 3級1名
6/11 ～6/23	全商簿記講習（放課後）	1級4名、1級科目21名、2級科目20名
7/19 ～7/24	夏期講習	
11/5 ～11/9	情報処理早朝練習	1級4名 2級8名 3級45名
11/5 ～11/9	珠算電卓早朝練習	1級16名 2級14名 3級10名
11/5 ～11/17	日商簿記講習（放課後）	3級8名
12/7 ～12/8	情報処理講習	3級24名
12/11～12/21	簿記講習	
1/9 ～1/26	簿記・情報講習（放課後）	1級27名 2級20名 3級36名
2/4 ～2/16	日商簿記講習（放課後）	
3/15 ～3/19	春季簿記講習	3級14名

商業科には入学時より就職を目指している生徒もいる。就職活動において他校生よりも有利に進路活動が進んだのも、この資格取得の強みであった。商業科よりの就職希望者は13名で、全員が就職内定を勝ち取っている。

【普通科】

(普通科 Standard コース)

- ・ このコースは普通教科を学ぶと同時に、各種検定試験にも挑戦可能な環境が整っている。普通科である以上、大学進学が最終ゴールであることは言うまでも無い。よってセンター試験は進学者全員に受験させた。
- ・ 進学に対応できる学力の向上を目指しつつ、英検・漢検・秘書検定・プレゼンテーション検定・簿記検定などへの受験も可能とし、自己啓発の可能性を広げることで、個々のモチベーションをあげて行った。成果は上がってきていると考える。
- ・ 過度の負担にならないことを念頭に夏期講習と放課後講習などを実施し、生徒たちの「やる気」を引き出し、可能性にチャレンジさせた。

(普通科 Advanced コース)

国公立・上位私立大学への受験者・合格者の増加をはかるコースであることを再確認し、卒業時の進路実績の充実を図るために、年4回行う外部試験の結果を追跡し、自学自習力と家庭での学習習慣の定着を学習時間チェックシートを活用して継続的に行った。また、Ad コースのみに実施している勉強合宿・放課後講習・英文多読などの取り組みを通して、生徒のセンター試験の得点力を養う機会とした。

特進コースの生徒には具体的に志望校を挙げさせた上で、進路面談を進路指導部主導で行い、それらの情報をクラス担任・学年主任・進路・教務で共有し、個別指導へと繋げた。また受験生としての精神性を育てる勉強合宿や講習、学習ガイダンスなど、学校をあげてサポートした。

3年前から取り入れた実力診断テストやスタディサポートの分析から行われる個別指導は生徒の継続的な学習意欲に役立った。

(勉強合宿)

8月19日～21日(二泊三日)	群馬県 妙義カンツリーホテル
12月17日～20日(三泊四日)	群馬県 妙義カンツリーホテル

計画2. 進学実績の向上のための進路指導体制の充実

「進学ガイダンス」

進学する学校種・系統を考慮して体系化し、進路指導部による「進路ガイダンス」を以下の通り実施した。

【対1年生】

4月	学習ガイダンス(高校での学習について) 知能検査・エゴグラム
5月	学習ガイダンス(模試の勉強方と利用法について)
6月	実力診断テスト 合同進学説明会に参加
7月	進研模試
8月	スタディーサポート・基礎力診断テスト
9月	卒業生体験談

10月	中央大学広報課によるガイダンス（普通科） 職業ガイダンス（職業人からの話を聞く会） 普通科・商業科 キャリア後援会（全校生徒対象） 適性検査
11月	進研模試(普通科 Ad) 実力診断テスト 学問ガイダンス（大学教授による体験談）
12月	法政大学キャンパス訪問
1月	学習ガイダンス
2月	女子栄養大学高大接続プログラム 進路報告会（3年生による報告）
3月	法政大学ワークショップ

【対2年生】

4月	クラス毎の進路講話 スタディーサポート・基礎力診断テスト
6月	実力診断テスト 合同進学説明会に参加 中央大学進路ガイダンス オープンキャンパスガイダンス
7月	進研模試 大学分野別ガイダンス
8月	オープンキャンパス参加・報告（全員必須） スタディーサポート・基礎力診断テスト
9月	卒業生体験談
10月	大学・短大受験講話（一般入試について） 普 Ad 大学・短大受験講話（AO・推薦入試について） 普 St,商業科 大学出張授業（志望分野別に全クラス） キャリア後援会（全校生徒対象）
11月	進研模試(普通科 Ad)・実力診断テスト 進路仮決定
12月	志望理由書書き方講座
2月	学習ガイダンス（普 Ad） 進路報告会（3年生による報告）

【対3年生】

4月	大学進学ガイダンス（普 Ad） 進路志望別ガイダンス（普通科 St・商業科） 専門学校希望生面談 スタディーサポート・基礎力診断テスト SPI模擬試験
5月	大学入試センター試験ガイダンス①
6月	進研模試(普通科 Ad)・実力診断テスト 合同進学説明会に参加
7月	進研模試 志望理由書書き方講座
8月	進学希望者ガイダンス（卒業生の体験談を聞く会） 面接講
9月	大学入試センター試験ガイダンス②

10月	キャリア後援会（全校生徒対象）
11月	駿台・ベネッセ第3回
1月	大学入試センター試験ガイダンス③

「就職ガイダンス」

就職指導は卒業までに全員内定を目指し、高校2年生より意識の向上を図る流れの中で指導した。結果として年度内に希望者は全員内定した。

【対2年生】

- 6月・・・進路ガイダンス
- 7月・・・分野別進路ガイダンス
- 11月・・・企業見学会（大日本印刷株式会社）
- 12月・・・志望理由書書き方講座
- 3月・・・企業見学会（ジンジブ）

【対3年生】

- 4月・・・ハローワークのジョブサポーターによるガイダンス
前年度末に「働くこととは」を課題にし、新年度4月にレポート提出
就職希望者と主任による面接
SPI 模擬試験
- 5月・・・求人票の見方の指示と共に、希望業種を決め、企業研究へと導く
- 7月・・・志望理由書書き方講座
校長面接
- 8月・・・外部講師による面接講習会
合同企業説明会

28～30年度進路実績 別紙①

計画3. ICT教育導入に向けた教員の研究・研修を企画

タブレット活用授業環境の整備を2年間で行う。29年度は全教員がタブレットを持つことで教員研修会を計画的に実施、教科内での研究を行い、その使い方の研究に取り組んできた。30年度からは電子黒板・デジタル教科書・タブレットなどを使用して授業を展開し、学力伸長を図ってきた。そして31年度からは新1年生及び教員に、Cromebookを導入した。コンテンツとしてもリクルートのスタディサプリやベネッセのクラッシーなどを導入し、学習コンテンツの充実はもちろん、ポートフォリオの作成など2020年度入試改革に欠かせないことは全て用意し、実施していく。

計画4. 教員の研修の充実

年間通して教員研修を実施した。

回	日付	曜	テーマ	担当	備考
1	4月2日	月	学校方針	小野	
2	4月5日	木	授業力向上・2020年度入試	小野・沖野	
3	4月18日	水	来年度入学生への対応	沖野	
4	4月25日	水	広尾学園について	遠藤	

5	5月2日	水	生徒保護者対応注意点・ロイロノートの使い方	カウンセラー・武	
6	5月9日	水	新しい風の再確認	沖野	ICT紹介・他校分析も
7	5月23日	水	新コース・来年度募集	森山・遠藤・沖野	
8	6月6日	水	新コース・来年度募集	森山	3つのポリシー
9	6月20日	水	Classi・eポートフォリオ	ベネッセ	
10	6月27日	水	事務研修	細谷	稟議書について
11	7月18日	水	募集要項読み合わせ・夏の塾中学訪問	遠藤	
夏期	7月19日～ 8月1日		全員15分間模擬授業 (ビデオ撮影)	管理職	
	8月5日	日	成女・クラーク・村田 合同研修		大類・三上・長岡・山口 み
	8月29日	水	センター模擬・ドラマ・ 東大帰国入試解答・指導法	管理職	
	8月30日	木	前日振り返り・発表会	管理職	
—	9月中		夏期ビデオ振り返り	沖野	個別面談
12	9月5日	水	理事長講話	理事長	
13	9月5日	水	いじめ・コンプライアンス・ 新しい教務内容説明	小野・森山・ 沖野	
14	9月26日	水	いじめ・ハラスメント	顧問弁護士	
15	10月3日	水	主体的な学びについて (授業改革)	リクルート	講演
16	10月10日	水	中学校訪問・塾訪問研修	遠藤	
17	10月17日	水	今後の方向性について	大橋博先生	
18	10月31日	水	主体的な学びについて (授業改革)	沖野	ワークショップ (グループワーク)
19	11月7日	水	主体的な学びについて (授業改革)	沖野	ワークショップ (ギャラリーウォーク)
20	11月14日	水	主体的な学びについて (授業改革)	沖野	ワークショップ (ジグソー法)
21	11月28日	水	新学年の指導について	沖野	
22	1月9日	水	入試問題について	教務	教科別
23	1月16日	水	入試について	管理職	
24	1月30日	水	スタディサプリについて	リクルート	
25	2月6日	水	フォーサイトについて	業者	目標設定・行動管理
26	2月27日	水	入試分析会	教科主任	
27	3月20日	水	変形労働時間について	社労士	
28	3月27日	水	教科テスト	管理職	

計画5. 学校行事とクラブ活動の一層の充実を図り、学校生活を活性化

学校は生徒たちにとって楽しい場所であるだけではなく、勉強面だけではなく、人格形成の場であることを考えるとき、学校行事と放課後のクラブ活動は「見えない学力」を伸ばす大切な場となることを強く再確認しながら以下の行事を実施した。

- ・生徒会活動を充実させ、校則の変更をはじめ主体的な活動をおこなった。

- ・国際化を意識した行事を実施し、ABK（アジア文化会館）との交流を行った。
 - ・文化祭においては、ABKの方に参加していただき生徒との親睦を深めた。
 - ・校外学習において、目的を明確にし、行事の内容を精査し変更した。
- ① 1年生の春の行事をTGG（体験型英語学習施設）の利用に変更し、体験学習的要素を取り入れ、生徒の興味・関心を引き出す行事とした。
 - ② 1年生の夏の行事を広尾学園の施設を利用し、クラス全体をまとめる力・自分の意見を発表する力を育成するように変更した。
 - ③ 修学旅行については、2019年度の目的を見直し、実施計画を作成した。
 - ・HPには、校外行事は当然のこと、日々の生徒の学校生活の様子を頻繁にアップし、楽しい生徒の姿を昨年以上に掲載した。
 - ・スポーツ推薦・珠算推薦を行うクラブは全国大会上位入賞を目指したが、大きな成果とはならなかった。

計画6. 生活指導について

- ・生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長をはかりながら、健全な成長を促し、基本的な生活習慣の定着や人間的資質、行動力、規範意識を高めることを目指し日々の生活指導にあたった。
- ・教員による登校指導・生徒たちによる風紀委員会・美化委員会・生徒会活動等を通して、生活指導における目標は達成できている。また、「挨拶が気持ちいい学校」と高く評価されていることを継承していく。
- ・生徒会からの提案により校則の一部変更をおこなった。
- ・外部講師による講演会は、LINEより講師を招き現代のSNSを取り巻く状況について講演を頂き生徒たちも興味を示していた。
- ・いじめ防止対策マニュアルに関して作成することができた。

計画7. 教務的な取り組み

- ・研究授業の計画、実施、振り返り
 - ・教科学習状況調査
 - ・家庭学習記録
 - ・模擬試験の結果活用
 - ・特別活動におけるAL学習の導入
- ・上記項目については概ね達成できている。
 - ・進路指導、生活指導、広報活動等においては教務部無しには動き得ないのが学校である。
 - ・教師の資質の向上や学校行事の充実、生徒の学習力など、見える学力と見えない学力の向上には教務部の果たす役割は大きい。その責務は概ね果たせている。

計画8. 広報活動について

「全員広報」のスローガンの下、入学者数増に繋げるための広報活動に取り組んだ。

- ・パンフレットは33,500部を制作し、6月上旬に都内の主要中学に生徒分を発送した。
- ・広告その他に関して、前年度募集をベースとして、回数を増やし内容充実させて適宜広告を出した。ネット広告も同様に力を入れた。
- ・説明会などの募集イベント前には積極的にちらしを作成し、訪問の際に担当者に持参さ

せたり、各塾等に適宜送付したりした。

- 学力上位層をターゲットとして、募集コースの名称と内申基準をおおはばに変更し、これまでにない高い学力層の生徒が入学した。一方、従来の層からは敬遠され、全体では入学者の人数を減らす結果となった。
- 商業科は募集段階では手応えがあったが、結果には結びつかなかった。これは昨今の商業科不人気が原因で競合するすべての都立商業高校が定員割れであったことから、都立を併願している受験生がみな都立に合格してしまったため、都立に流れてしまったことによる。
- 外部説明会の相談者数を増やすために昨年以上の外部進学相談会に積極的に参加した。昨年は 26 箇所今年 33 箇所に参加した。
- 広尾学園との教育連携というコピーを出したが、高校募集にはそれほど効果がなかった。
- 一昨年度、現高校 3 年生はサッカー推薦で 25 名が入学、昨年度の現高校 2 年生は 8 名の入学であったが、今年度の募集活動においては、サッカー推薦を大きく広報しなかったため、3 名にとどまった。
- SNS による情報発信の試みから 3 年目になるが、まだまだフォロワー数は少ない。この数を今後は増加させて行くためには専属の担当者の配置が重要となる。
- オープンスクールは、前年度 4 回であったものを 6 回に増やし、内容も授業体験を充実させたためか、昨年度と比較してより学力の高い層が参加してくれたようである。参加者も大幅に増えた。
- W もぎを複数回本校で実施してもらった。次年度も引き続き W もぎを 9 月から 5 回実施してもらおうこととなった。
- W もぎに加え、V もぎも同様に 9 月から 8 回実施してもらおう。一度の実施で 300 名から 400 名の受験生が本校に足を運ぶ。

●内申基準の変更比較表

	2018 年度入試				2019 年度入試								
	内申基準		応募	手続		単願内申基準			併願内申基準			応募	手続
	5 科	9 科				3 科	5 科	9 科	3 科	5 科	9 科		
普アドα	19	31	18	9	GL	14	23	42	15	24	43	39	23
普アドβ	17	29	12	2	ST	12	21	37	13	22	38	20	7
普スタ	15	27	88	35	TK	12	20	35	13	21	36	17	8
商アド	—	29	32	11	SL	11	18	34	12	19	35	16	9
商スタ	—	26	74	25	BL	10	15	26	11	16	27	72	15

●昨年度の中学校・塾訪問状況

	訪問実数	備 考
中学校	246 校 昨年は 529 校	データを分析し、地域を半分程度に絞り、余力は塾訪問にあてた。
塾	1,646 塾 昨年は 1,224 塾	受験生のアプローチがあった塾を中心として訪問を心掛けた。

●昨年度の学校説明会・オープンスクール・外部説明会

・学校説明会

実施月	回数	日付け
6	1	6/9(土)
9	1	9/15(土)
10	1	10/13(土)
11	3	10/27(土),11/10(土), 11/17(土)
12	3	12/1(土), 12/8(土), 12/15(土)
1	1	1/12(土)

・オープンスクール

オープンスクール	7/8(日)、7/14、7/28(土)、8/26(日)、
秋のオープンスクール	11/4(日)、11/23(祝)

・塾対象説明会

6/13(水)	10/17(水)
---------	----------

・外部進路相談会

	日付	説明会名	場所
1	3/25 日	よみうり GENKI フェスタ 2018	東京国際フォーラム 展示ホール
2	4/30 日	さんだる相談会 in 錦糸町	錦糸町
3	5/21 日	さん去る相談会 in 都立豊島高校	都立豊島高校
4	5/28 日	文京区私立中学高校連合進学説明会	秋葉原 UDX 南ウイング 4F
5	6/2 土	上級学校合同相談会	練馬区立大泉中学校
6	6/2 土	埼玉東部進学フェア	草加アコスホール
7	6/3 日	埼玉東部進学フェア	草加アコスホール
8	6/9 土	江戸川区中学校 高校進学フェア	タワーホール船堀
9	6/10 日	江戸川区中学校 高校進学フェア	タワーホール船堀
10	6/10 日	ふれあい 進学相談会	川口市民ホールフレンドシア
11	6/16 土	私立中学・高校進学相談会 in 上野松坂屋	上野松坂屋
12	6/17 日	第37回 中・高入試 受験なんでも相談会	新宿 NSビル 地下1階
13	7/1 日	POOLDUCK 主催 高校進学説明会	大田区産業プラザ PIO 1階 大展示ホール
14	7/7 土	2018年度 第9回高校進学合同相談会	江戸川区立小岩第五中学校
15	7/8 日	ふれあい 進学相談会	浦和コルソ7F
16	7/21 土	台東区立中学校進路フェア'18	東京都立産業貿易センター 台東館5階
17	7/21 土	2018『彩の国進学フェア』	さいたま市 さいたまスーパーアリーナ(スタジアムモード)
18	7/22 日	2018『彩の国進学フェア』	さいたま市 さいたまスーパーアリーナ(スタジアムモード)
19	8/4 土	かつしか進路フェア 2018	都立南葛飾高等学校
20	8/4 土	首都圏進学フェア 2018in 千葉	幕張メッセ国際会議場
21	8/5 日	首都圏進学フェア 2018in 千葉	幕張メッセ国際会議場
22	8/5 日	第12回中学生・保護者のための北区進路フェア 2018	都立飛鳥高等学校
23	8/18 土	東京都私立学校展 (進学相談会)	東京国際フォーラム 展示ホール
24	8/19 日	2018年度 明光義塾進学相談会	EBIS303 イベントホール
25	9/15 土	上級学校合同相談会	練馬区立光が丘第三中学校 (体育館)
26	9/16 日	第39回 私立中・高・大進学相談会	新宿 NSビル B1 展示ホール
27	9/24 祝	2018 私立高校入試相談会	パシフィコ横浜展示ホール
28	10/7 日	入試ファースト	
29	10/7 日	親と子の「私立・都立・中学・高校受験相談会」	新宿 Lタワー

30	10/21	日	東京私立中学・高等学校 池袋進学相談会	池袋サンプラザ シティ 文化会館 2F 展示ホールD
31	10/28	日	スクール IE 埼玉進学相談会	大宮ソニックシティー
32	11/11	日	私立中高進学相談会	秋葉原 UDX 2F

計画9 オーストラリア語学研修の実施

旅行会社を JTB から近畿日本ツーリストに代えて実施はしたものの、参加人数は6名。見直し・工夫が必須の命題である。

計画10 防災・危機管理

- ・現在各教室に防災用品を保有し有事に備えてある。学校の備蓄品を含めると6日間の対応が可能だが、充分とは言えないが「食物アレルギーを持った生徒への対応策」を考慮した備蓄が行われた
- ・9月始業式に防災訓練を実施したが、平常時における非常勤講師を含めた訓練にはについては、実施することはできなかった。今後の必ず行わなければならない。次年度は早めに計画し、実施しなければならない
- ・防災マニュアルが概ね完成した。